

卒業生による進路講演会

令和8年3月16日(月)に59回生6名、60回生8名がそれぞれ1,2年生の各教室に赴き、在校生に向けて自身の高校生活や勉強について、考え方や感じたこと、つらかった経験や達成感などについて話してくれました。

会の運営には進路・学習系の在校生が携わり、先輩たちへの質問や当日の司会進行を担って生徒たちを中心に運営が行われました。



先輩たちの話を聞き、1年生はこつこつと積み重ねて小テストや模擬試験を大切にすること、日ごろの授業こそ大事にしようという話を受け、今思い当たることはすべて2年後につながることを実感したようです。今一度きちんと取り組もうと気持ちを新たにした生徒や、先輩の勉強法を早速取り入れようとしている生徒が見受けられました。

2年生は3年0学期を迎え、いよいよ迫る受験に対し、先輩たちの話を取りこぼすことのないようにという意識がこちらに伝わってくるような高い集中力をもって話を聞いていました。進路先選択において大切なことから、実際の受験校の選び方、部活と勉強の両立をしながら頑張るためのスケジュールの作り方、夏休みの過ごし方などさまざまな角度から具体的な話を聞き、今の自分にできることを一つでも取り入れようとする姿勢が見受けられました。

会の最後には卒業生に対して「安定か、挑戦か」という答えのない難しい質問をし、卒業生も頭を抱えながら自由に話をしてもらいました。自分のマインドやポリシーを後輩に伝えるために、卒業生全員が真摯で誠実に贈る言葉を考えてきたことが伝わってきました。

快く参加を引き受けてくれた卒業生、運営に携わってくれた在校生、あたたかく見守ってきた教職員、全員が、在校生がよりよい進路選択ができるようにと動くことで実りある会として無事に終えることができました。

来年度以降も卒業生も「茅ヶ崎北陵高校に恩返しをして、後輩の未来がよりよいものになるように力を貸したい」と思えるような学校運営が続けられるように、そして何より挑戦を恐れなかった先輩たちを見た在校生たちが自分たちも多くのことに挑戦できるような環境づくりができるように、この会を運営していきたいと考えています。